



あかびらの 今と昔

今と昔のあかびらでは、どのように変化をしているのでしょうか。ここでは、昔の懐かしいイベントや風景、建物などを紹介していきます。

翠光苑



昭和41年6月12日 キャンプ場開き

暖かくなつて、赤平でもアウトドアでのイベントや遊びが楽しめる季節になりました。アウトドアといつて、まず頭に浮かぶのはキャンプでしょうか。突然ですが問題です。市内で初めてのキャンプ場はどこにあったと思いますか。エルム高原家族旅行村やオートキャンプ場でしょうか。かつてはエルム森林公園もありましたね。

実は、赤平初のキャンプ場は百戸町の「翠光苑」につくられました。パークゴルフ場のイメージが強いので意外でした。

広報あかびら昭和41年7月号には、6月12日のオープン日には、6月12日のオープン日には



現在はパークゴルフができる公園に。

炊事をするボーイスカウトの写真とともに「この施設は、子どもたちが明るく、すこやかに成長するためにつくられたものです。」とのコメントが。今も昔も、子どもの健全育成とキャンプとの結びつきは変わりないようです。

翠光苑は昭和38年8月25日にオープンしました。キャンプ場を経て、平成2年8月1日にパークゴルフ場が開設。市内に数あるパークゴルフ場の中でも、起伏に富んだコースとして長く愛好家に利用されています。

キャンプ場からパークゴルフ場へ。翠光苑はアウトドアの流行を取り入れてきた公園といえるかもしれませんね。



グランプリ

あかびら商店街通信
WEBのQRコード

「お買い物は赤平で」
で検索！



地域おこし協力隊として、最終年度の3年目を迎えました近藤です。今年度も引き続き赤平商店街の魅力を伝える情報配信と、皆さんに楽しんでご参加いただけるようなイベントを実施したいと思っています。

4月30日に終了しました「赤平がんがん鍋フォトコンテンツ」のグランプリが決定いたしました。お子様の表情、お店の雰囲気、がんがん鍋の魅力を伝える素敵なお写真でした。

次回のイベントも近日中に発表になるかもしれません。楽しみにお待ちください！

地域おこし協力隊 近藤

地域おこし協力隊通信

